

5月の教室・行事予定

日	曜	教室・行事等	～毎月10日は人権を考える日～ 『「60年」を考える』
2	金	健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:30～21:00)	1954年、ビキニ環礁で米国が行った水爆実験から今年は60年になります。環礁の東約160kmの公海上で操業していた静岡県焼津市のマグロ漁船「第五福竜丸」の乗組員23名が被ばくしました。
3	土	憲法記念日 	帰路の2週間、頭髪が抜けたり下痢や嘔吐をしたり、いろいろな症状がでてきました。そして被ばくから半年後、
4	日	みどりの日 	無線長であった久保山愛吉さんが亡くなりました。
5	月	こどもの日  	操舵手であったMさん(87歳)は、「核の怖さを伝えていかなければならない」と体験を語り継ぐ活動を続けています。Mさんは、長女が生まれる時も不安でいっぱいだったし、自分がいつ病気になるか分からないという心配から船に乗るのはあきらめました、「放射能がうつる」と近所の人が避けるようになって、米国からの見舞金を手にすると、「金をもらってええのお」と言われるなど、家族にも大変迷惑をかけたそうです。
6	火	振替休日 	現在は、妻と子ども二人とともに古民家でレストランを営っていますが、存命の元乗組員は7人になってしまいました。Mさんは、長年持ち続けた米国への怒りと、今後どこかで誰かが核の犠牲者になるかも知れない怖さを、生きている限り訴えていきたいと話しています。
7	水	フォークダンス (10:00～12:00) 生け花 (13:30～15:30)	「戦争抑止力のため」・・・という理由で核開発を進める国が次々と現れる今日、広島、長崎、第五福竜丸、福島と過去4回も被ばくした日本人の使命は、地球上から核をなくするというMさんの叫びと重なるのではないのでしょうか。
9	金	愛隣連女性部総会・女性職員研修会 健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:30～21:00)	戦争は最大の人権侵害とされています。
10	土	詩吟 (19:00～21:00)	「第五福竜丸」の被ばくから60年たった今、命と人権についてももう一度考えてみてはどうでしょうか。
12	月	健康・太極拳教室 (14:00～15:30)	西条市教育委員会・西条市人権教育協議会
13	火	茶道 (13:30～15:30)	
14	水	運営協力委員会 (19:00～) 【予定】	
16	金	健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:30～21:00)	
19	月	健康・太極拳教室 (14:00～15:30)	
21	水	フォークダンス (10:00～12:00) 生け花 (13:30～15:30) 健康相談 (13:30～15:30)	
23	金	健康体操 (13:30～15:30) 南子ども会 (19:30～21:00)	
24	土	詩吟 (19:00～21:00)	
26	月	健康・太極拳教室 (14:00～15:30)	
27	火	茶道 (13:30～15:30)	
30	金	健康体操 (13:30～15:30)	

第168回 会館ミニ展示会

『手作り人形展』

- ◆日程 平成26年5月7日(水)～23日(金)
- ◆場所 大町会館 玄関ホール
- ◆提供者 矢野 マサ子 さん



大町会館 だより 5月号

2014年5月 第168号
発行:西条市大町会館
西条市福武甲1644-1
TEL・FAX 55-5393
eメール
omachikaikan@saijo-city.jp

伊曾乃神社 開運春祭 4月6日 大町会館子ども屋台を 奉納しました。

今年は、19台の屋台の参加です。

何日も前から会館に集まって準備しました。

花冷えの中、桜吹雪に感動しながら、お母さん方手作りのお花見弁当に舌つづみ。

しかし、練りが始まる頃、天候が急変。

ひょう混じりの大雨と寒さに震えながら、少ない人数でだんじりをかき、無事奉納することが出来ました。

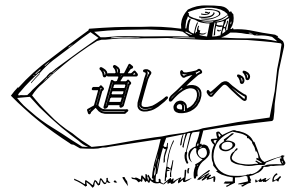
あいにくの空模様でしたが、みんなの顔は、達成感・満足感で輝いていました。

来年も頑張ります！ 応援してください。



出発前に会館前にて記念撮影





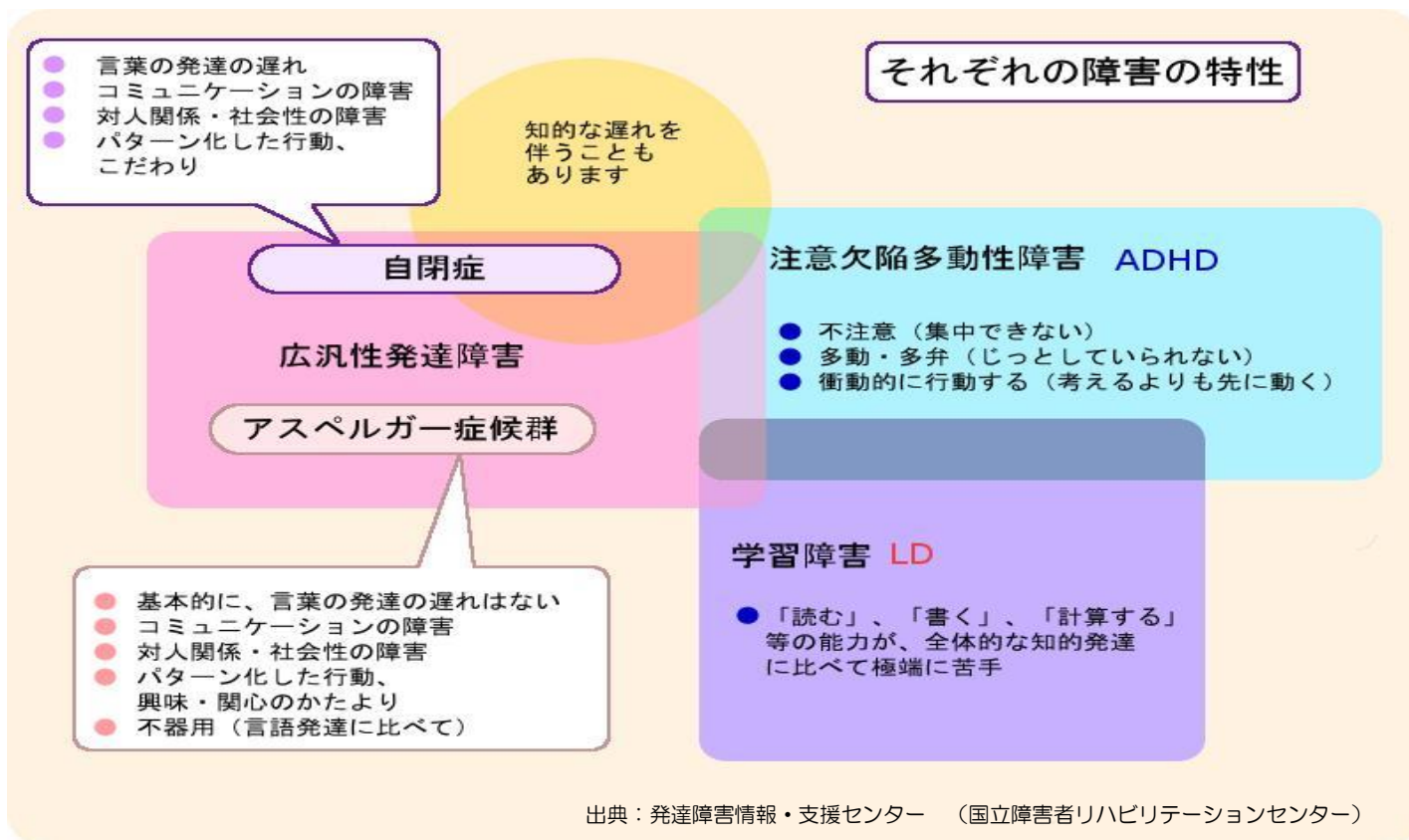
『発達障がいのことを理解してみませんか？』

ウイングサポートセンター

知ってほしい『発達障がい』のこと

発達障害者支援法において、「発達障害」は「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義されています。

障害ごとの特徴がそれぞれ少しずつ重なり合っている場合も多く、年齢や環境により目立つ症状がちがってきます。診断された時期により、診断名が異なることもあります。



○理解してほしい『発達障がい』のこと

- ・人との関わりが下手で、話しかけても返事がなかったり、反応が薄いことがあります。
- ・感情の表し方やコントロールが苦手で、何でもないことを嫌がったり、怖がったりすることがあります。それまで大丈夫だったことでも不安になることがあります。時にはパニックになって泣き叫んだり暴れたりすることがあります。
- ・体の動きがぎこちない、手先の細かい動きが苦手なことがあります。

★これらは、発達のアンバランスによるもので、本人の努力不足、親の育て方、しつけの仕方、愛情不足が原因ではありません。

周りの人は、できないことを叱ったり嘆かないでください。子ども（本人）を褒めて認めてあげてください。

大事なことは、その子（人）がどんなことができ、何が苦手なのか、どんな魅力があるのかといった「その子（人）」に目を向けることです。そして、その子（人）その子（人）に合った支援があれば、だれもが自分らしく、生きていけます。

ウイングサポートセンターは、「自立し、心豊かにたくましく生きる西条っ子」の育成を目的に、必要な支援を得ながら自立し、地域において豊かに生きていくことができるように活動する施設です。誰もが住みやすい、人にやさしい街をめざし一緒に学んで行きましょう。



周辺地域巡回健康相談



4月16日（水）午後、山の下集会所で健康相談事業を行いました。

講師は、昨年に引き続き、カイロプラクティック（整形医学骨格調整手法）の杉本弥生先生です。身体全体を、手の平で押し揉んだりしながら、それぞれの質問に、適切なアドバイスをいただきました。

皆さん、大変気持ちが悪くなったそうです。元気で過ごせるよう、自己管理に励みましょう！



〈次回の予定〉

場 所： 下小川集会所
日 時： 5月21日（水）13:30～

愛隣連定期総会

4月18日（金）、東温市川内公民館にて、平成26年度愛隣連定期総会が行われました。

開会行事の後、県人権教育協議会 岡 省吾会長代行から、「知りたがらない日本人」と題して講演があり、教育による啓発と法律による規制、そして解放運動との連携を話されました。



新会員のみなさん

総会は、まず、平成25年度の事業報告及び決算報告、平成26年度の事業計画及び予算が審議・承認されました。続いて、会則の全面的な改正が審議・承認され、新役員が改選されました。